



郷土の生める天才としてし

彫塑界の泰斗 赤堀信平氏

印度藝術の流れを掬み

「人体の力」に哲學的

永遠不滅の光が輝く

朝倉

郷土の生める偉大な天才として我が國彫塑界の泰斗赤堀信平氏は平町玉川主人國...

東都

大家を相伍しある、尤も裸像が日本の藝術界に於いては支那の比では無い...

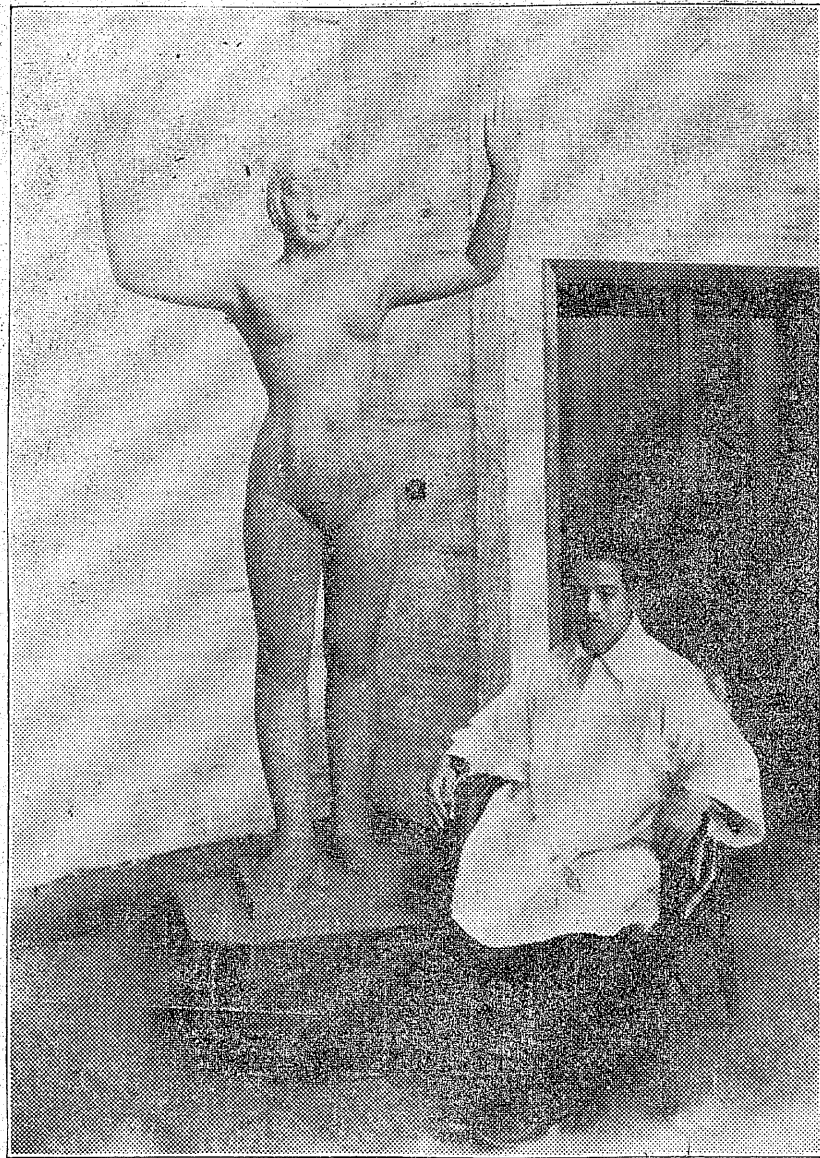
彫刻

理解や完全な即ち日本太古の宗教及哲學は印度と密接な關係を有し...

神童

氏が彫塑に發心したのは十八才の時東京谷中太平洋繪畫研究所に學び、後東都の大家朝倉文夫氏の門に入り...

「空」優良の成績を以つて特選の榮譽を荷つた事も帝は特選を連續するなど我が知られてゐる、...



氏平信堀赤 彫影 面者 作 空 特選 帝國 回八第 美術院展覽會

花鳥

山水が其の大現したと云ふが赤堀氏の作悪い瓦斯が發生せず) によ...

た點

に於いて偉大の間で一圓五十錢、晝夜間では電六拾錢、五百ワット時...

衛生

上に於いて偉大の間で一圓五十錢、晝夜間では電六拾錢、五百ワット時...

赤堀

氏の出品の殆ども云ふべき大越中佐の銅像佛畫の如きは將に印度町に氏の作品展覽會を催は...

眞に家庭經濟になり!!

老人神經痛の人に喜ばれる 火災の危険無い電気コタツ 電気ストーブをお奨め

暖房

費用を用ひる所又は設備費のかさ普通暖房設備と云ふとステ庭では部屋全體を暖める設...

商業新報生る

今回平町より出版された會報警陽商業新報は商業家の福音とも云ふべき商工業の必要の機關誌たるもので會員...

移轉御通知

今回平町古銅冶町三番地より平區裁判所下通長坂に落成した新築工場に移轉致しました

武藤鐵工所

電話は長五一四番

社近々双葉郡川内村に支局開設準備中

地方稀に見る

讀書家として知れる 諸橋元三郎氏

時勢の進化に伴なふ 文化の變遷情態を研究のため日本雜誌創刊號を蒐集

平町

釜尾商店の會に見る讀書家として知られる 計一切を主宰してゐる事は今更言ふまでも

する諸橋元三郎氏は稀れにない事だ左に記したは同氏 見る讀書家として知られて必藏の日本雜誌創刊號であ

情態

新聞雜誌は近々中に一般に展覽せしめる事になつて

進語

同氏は性急にして 同五年 帝國少年

今回平町古御治町三番地より 平區裁判所下通り長坂に落成し 武藤鐵工所 電話は長五一四番

同八年 光、醫科器械學 惣明會講演集、性の研究

同十二年 社會主義倫理 學研究、內政、黃人時論

鬼語魔語

去月九日日本紙購讀者家族慰 安大會を模範常設館の定評

八百八十八名のぼのすところなんざ偉い、 事務左様に熱心家である、

同十二年 社會主義倫理 學研究、內政、黃人時論

同十二年 社會主義倫理 學研究、內政、黃人時論

本年になつて急にふえかけたものはといへば平町 ことである何といつても當前マルカ加藤商店の小學生

近日大公開 日活會社代表的超特作 現代劇全員合同總出演

尊王攘夷 轟然一發！黒船來航は徳川三百年の隋眠を

貸家案内 銀町 商人向 廿六圓

素摘な... 本町通り商店 向貸家あり 姓名 在社

次號を見られよ

本社は断然苛情なく筆誅を加へた

悲難の聲糾然と擧る

一本松電氣會社の

罪惡史は？

紙面の都合により次號に徹底的に解陪されん

定評ある吉田御殿

有聲座辯士町田某

一皮剥けは淫蕩

限りなき妖兒

昭和維新の男性を遺憾なくシンボルした此の淫蕩兒を見よ

其の株主には平驛新通り某旅館女中あり某商店の子守あり其他某々女性ありこの風評

内科・小兒科・花柳病科

藤沼醫院

【入院隨意】 平紺屋町五〇七番

和洋銅鐵金物問屋



平五丁目電話九三九番

西村屋藥舖

平町二丁目電話三三番

高久病院

院長 高久忠

副院長 赤羽清

藥局長 佐竹菊雄

【入院隨意】 平町五丁目電話五一三番

和久井屋漆器店

平町一丁目電話四〇五番

腸胃

内科 三指腸虫病科 (門專)

平町南町

松村病院

電話一〇七番

梅毒

外科部

淋病 婦人病 包茎病 (門專)

冬帽入荷

新型中折帽 新柄鳥折帽

「各種帽子」

船來中折特提供 青年團 (は特に御相談申上候)

遠藤商店 平町二丁目電話八一七番

和洋樂器一式 三味線修繕所

綠川三味線店

平町白銀町

御料理

忘年会、新年宴會は特に御便宜低廉に御相談仕候

金榮

平町新田町 電話四三四番

板金工事建築ペンキ塗

請負 菊田萬吉商店

平町白銀町電話八一四番

諸機械・自動車修繕

東京芝森田商會代理店

北條製作所

平町白銀町

水飴各種。煉油香油

製造卸

稻葉屋商店

平町白銀町

うな井 蒲燒 金五拾錢 (お吸物付)

迅速 つたや旅館

平驛前電話三三番

◎自動車御用ハ

電話 八二六番 (三丁目) 八二二番 (南町)

芹澤自動車部

主 芹澤正忠

(自宅平町南町)

来る廿五日より

羽子板 破魔弓

大賣出し

各種

提灯一式

スガノヤ提灯店

平町四丁目電話七二二番